

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	地域に開かれた学校づくりの展開					
(2)	総合計画の体系	第	04	章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
		第	01	節	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
		第	30	細節	地域に開かれた学校づくりの展開		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		177	194	191	
		従事職員数		0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		所要人件費(B)		1,608	1,580	1,611	
		総事業費(A+B)		1,785	1,774	1,802	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	1,785			1,774	1,802		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	学校教育支援者活用延べ回数	目標値 (単位:回)	10,500.00	10,500.00	10,500.00
		実績値 (単位:回)	10,322.00	10,072.00	
		達成度(%)	98.3	95.9	
目標値の積算方法	(学校支援者登録者数) × (活用回数) (1,500人) × (7回)				
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法					

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

ボランティアは学校園において欠かすことのできない支援人材であり、特に課外クラブ活動の指導、児童生徒の学習補助や活動の見守りなど、ボランティアを活用することで学校教育活動が充実する側面があります。市内の複数の大学からもインターンシップとして大学生が学校園に入る機会が増え、そこからボランティアに登録する学生も増えてきており、そういった状況からも事業の重要性は増しています。今後、学生等の希望と学校園のニーズをうまくマッチングさせ、ボランティアを活用していくことが課題です。

4 施策の評価

次年度の 優先 順位	施策を構成する 事務事業名	室課名	事業 番号	市 単 独 事 業 区 分	施 策 へ の 貢 献 度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低					合 計	今 後 の 方 向 性 (実 施 計 画)
						妥 当 性	有 効 性	効 率 性	公 平 性	持 続 可 能 性		
1	学校等支援者ボランティアネットワーク事業	教育センター	00931	全部	大	18	16	16	18	18	86	継続
2											0	
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方												